

新学期開始です

加藤 佳奈子

今月からようやく春らしくなり、3月上旬まで枯れ木同然だった校舎前の植え込みがいっせいに花を咲かせ始めました。天気はまだ少し不安定ですが学内の雰囲気も華やかになってきました。2学期目が始まり、新しい学生も何人が転入してきて、学内にもぎやかです。転入生を心待ちにするなんて、なんだか小学校のようで懐かしいですが、残念ながら何人かの学生はだんだん授業にこななくなっています。私の在籍している中級クラスでは学期はじめから1ヶ月もたたずに学生が3分の2まで減ってしまいました。非漢字圏の学生には特に漢字で書かれた教科書は相当な負担だと思います(漢字圏から来た日本人の私も新しい課に入るたびに、文章量に圧倒されてしまいます)。しかしそんな泣き言は聞いてもらえません。きちんと勉強できる時間も終わりに近づいています。これ以降も気を引き締めて勉強に取り組んでいきたいと思います。

さて、今月は授業風景について少し触れようと思います。この山西大学の留学生クラスは初級、中級、高級の3つに分かれており、私たち埼玉県から派遣された学生たちはそれぞれ自分のレベルにあったクラスで学んでいます。授業はリーディング、リスニング、会話、そしてリーディングをメインにした総合とよばれる科目があり、中級クラスには韓国人、フランス人、アルメニア人、アメリカ人、メキシコ人、そして日本人が在籍しています。

国際的な雰囲気は留学生クラスならではのようです。先日会話の授業では各国の文化や食事について発表をする場があり、ネイティブから自国文化について話を聞くのはとても興味深かったです。身近な韓国でさえ、地理や文化などこんなにも知らないことが多いのかと感じました。私のときには埼玉代表として簡単な埼玉の歴史や観光地、そして料理について紹介してみました。難しかったのが料理です。調べてみてもあまり埼玉全体で食べられている共通の料理というのがないようでした。結局狭山茶と川越芋ようかんに落ち着きましたが、もう少し埼玉についても勉強しなくてはと反省しました。

話は変わりますが、近くこの留学生用の校舎および学生宿舎が移動になる可能性があるとのこと。今日いきなりそのような会議が学校関係者のなかであり、まだ詳しいことは学生にはおりにきていないのですが、今学期中に実施されることも考えられるそうなので、残りわずかな滞在はバタバタしそうです。大学前的大通りをさらに大きくするという計画も市で急遽決まったらしく、両側の商店が軒並み取り壊され始めました。あちらこちらで大改造が行われているような印象を受けます。中国のこのような決定は急で大胆だなとも思い

ます。商店街のなかにはこの新学期にあわせて開店した店がいくつもあり、お店側はたまったものではないでしょうが、この新陳代謝とも呼べるような変化が中国の発展を支える原動力のような気がします。そういえば、この春ついにスターバックスの太原市一号店もオープンしました。少し遠いですが、コーヒー好きにはありがたい憩いの場です。



教室前の植え込み。新緑と淡い花の色が青空に映えます。



この日は天気がよかったので
中国の学生に混じって外で山西省北部名物の刀削麺
(沸騰したお湯に練った麺生地を刀で削り入れて茹でる麺)
を食べました。



太原スターバックス1号店。中国のスターバックスは概ねゆったりしていて日本よりも高級感があります。ちなみにコーヒーは17元、スコーンは12元です。
(2013年3月現在1元=15円)